

## この夏は「星取県」で 星を極めよう!

(寄稿：鳥取市さじアストロパーク みやもとあつし 宮本 敦さん)

県内全市町村から天の川が見られる「星取県」。夏は晴天率がよく、星空を楽しむ絶好のチャンスです。この夏の「星空おすすすめポイントトップ3」を参考に、星空を極めましょう。



### 第1位 火星が15年ぶりに大接近します

地球のすぐ外側を回っている「火星」は、およそ15～17年ごとに地球に大接近します。

今回の大接近の日は7月31日で、この頃を中心に8月いっぱいには明るく輝いて見えます。特に大接近の頃の火星の明るさはマイナス3等級で、七夕のおりひめ星で有名な「こと座のベガ」のおよそ16倍の明るさですから、星空の中でもひときわ目立って見えます。午後9時位に、南東から南の空に注目です。赤く輝く火星を星空の中で見つけましょう。火星は明るいので、都会でも見ることはできますが、星取県ではより明るく見ることができます。ただし、「大接近」と言っても肉眼では大きく見えません。

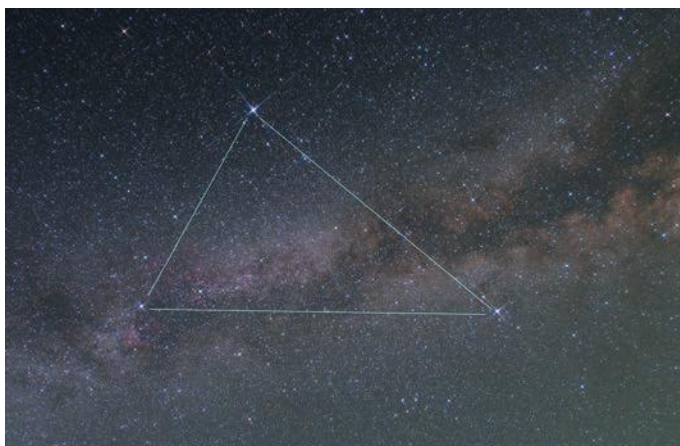
### 第2位 流れ星を観察しましょう

毎年、お盆のころに見ごろとなる「ペルセウス座流星群」。平成30年は、8月12日～13日がピークだと言われています。今年は、ちょうど月明かりがなく、最良の条件で流星群を迎えることができます。ペルセウス座流星群は、午後9時から明け方までよく見えますので、8月12日～13日を中心に、1週間位をめどに星空をながめてみましょう。天の川がよく見える星取県は、流れ星もよく見える場所でもあります。

### 第3位 天の川を見ましょう

「空気がきれい」「過剰な人工照明が少ない」など、「星取県」は天の川を見る条件がそろっていますが、みなさんは実際にご覧になったことはありますか？

先日も「天の川を見たいけど、よくわかりません。雲がいつもかかっているせいでしょうか」という問い合わせがありました。実はこの「雲」のように見えているのが、天の川だったりするんです。都会の人が聞いたら、「なんてぜいたくなんだ」と驚かれるかもしれませんね。「雲のようなものが、時間とともに星と一緒に移動していく」「いつも同じ星のところ雲が見える」場合は、天の川の可能性大です。夏の天の川は、夏の大三角の辺りを通っていますので、じっくりと観察してみましょう。



夏の大三角と天の川 ※市街地を離れるとこの程度見ることができます。



問合せ先

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1  
TEL (0858) 89-1011 FAX (0858) 88-0103